

京都市の 社会福祉協議会

目次

届けよう 災害支援の思いと力 P.1
各区・各学区社協の取組み P.2-3
健康すこやか学級
高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会を実施
福祉ボランティア社協フェスタご案内 P.4
広報サポーター募集

届けよう 災害支援の思いと力 熊本地震 被災地を支援



京都市社協の取組み

職員への派遣

全国社会福祉協議会からの派遣要請を受け、4月27日から7月21日まで計19名の職員を派遣し、熊本市等の災害ボランティアセンター運営支援および生活福祉資金貸付相談業務を行いました。



義援金の募集

京都市の取組みにあわせて市・区社協及び事業所に4月18日から募金箱を設置し、市民の皆様への義援金を募集しました。

ボランティア支援金の贈呈

熊本市社会福祉協議会に対して、京都市災害ボランティアセンターとの連名で50万円の支援金を送金しました。

京都市災害ボランティアセンターの取組み

京都市災害ボランティアセンターは市社協、きょうとNPOセンター、京都市の三者で構成する常設のセンターで、京都市福祉ボランティアセンターに事務局を置いています。

災害ボランティアの募集および派遣

熊本市災害ボランティアセンターへ計3回延べ40名のボランティアを派遣し、熊本市東区内で、がれきの撤去や家屋の片づけ等の支援活動を行いました。

	日程	参加人数
第1フル	4/29~5/3	10名
第2フル	5/7~5/11	10名
第3フル	5/13~5/16	20名



ボランティアの活動の様子

災害に備えた京都市における社協の取組み

京都市では、区長の要請により区社会福祉協議会が「区災害ボランティアセンター」を設置し、「京都市災害ボランティアセンター」が総合調整を行います。

被災地支援の経験をふまえて

熊本市災害ボランティアセンターでは、設置からGW明けの約1カ月間、連日100名を超える大学生が運営スタッフとして活動しました。京都市でも大学生の参加を促進するため、大学ボランティアセンター*との連携に取り組んでいます。

*佛教大学、立命館大学、京都産業大学、同志社大学、龍谷大学に設置

平成28年9月3日(土)京都市総合防災訓練の一環として実施した区災害ボランティアセンター運営訓練では、大学ボランティアセンターとの連携により、9名の大学生が運営スタッフとして訓練に参加しました。訓練では、ボランティア登録からボランティアの送り出し、活動後の報

告の受理まで一連の運営業務を大学生が担いました。

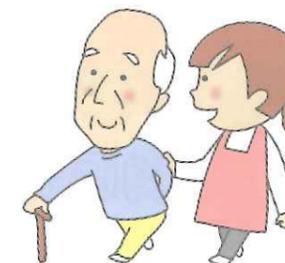
京都市の災害ボランティアセンターの中核を担う本会では、京都市内で災害が発生した際に、災害ボランティアセンターの運営に知識や経験のある若いパワーも得られるよう、大学ボランティアセンターと共に体制づくりに向けた取組みをより一層推進します。



大学生の参加の様子



こころのひとりぼっちをなくそう



健康すこやか学級

平成12年の介護保険制度導入とともに、京都市からの委託事業として介護予防を目的に実施しています。多くの学区社協の役員・ボランティアの皆さんの協力により、京都市全体で年間のべ12万人を超える高齢者の方々にご利用いただき、住民同士のつながりや地域の絆づくりを広げる学区社協の重要な活動となっています。

男性高齢者の参加は2割未満と少ないのが現状ですが、男性高齢者にも気軽に参加いただけるよう、工夫をしながら取り組んでいきます。



高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会を実施

地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービス等の提供体制を構築する「京都市地域支え合い活動創出事業」を、平成28年5月から京都市社会福祉協議会が公募により受託し、「地域支え合い活動創出コーディネーター」が各区社会福祉協議会に配置されました。

高齢者の生活を支援するサービスを充実させることが求められる中、高齢者が身近で気軽に立ち寄れる「居場所」は、閉じこもり等の孤立

の防止や参加者同士の出会いによる仲間づくり等で重要な役割を果たしています。

平成28年6月、居場所の運営者同士がお互いの悩みを語り合い、課題をともに乗り越えていくことを目的に、コーディネーターの進行による情報交換会を開催しました。



上高野学区

参加者も担い手に。皆でつくる「今日行く会」

上高野学区社協では、参加者の声を聞き、バリエーション豊かな内容で実施しています。そのひとつが「今日行く会」です。この会の特徴は、参加者たちが当番制で、内容を企画し、当日の運営を行うことです。健康チェックや介護予防の体操を行った後、健康マージャンやハーモニカなど参加者同士でやりたいことを決め、参加者同士が教え合いながら楽しんで活動しています。学区社協のボランティアだけでなく、参加者自身が積極的に運営に関わることにより全員がやりがいを持ちながら活動し、いきいきと過ごされています。



6月30日に開催した居場所運営に関する情報交換会には、23団体の方々が集まって頂き、互いにどのような活動をしているかを知る良い機会となりました。

「参加するとご近所で顔見知りができる、顔を合わせれば話が出来、安心出来るという声をいただいた」「参加者が自己実現できる場となるように参加者の方が主体となれる取り組みを実施している」といったご意見を伺うことが出来ました。それぞれの居場所で講師役をされている方が、互いに行き来などが出来たら、といった発展的なお話も出来ました。

一方で、ボランティアの高齢化など担い手の問題、



会場の費用・立地の問題、レクリエーションなどのメニューの充実、男性の参加をいかに増やすか、といった課題も上がりました。

今後、課題解決に向けて、地域で高齢者を支える居場所づくりを行政や地域包括支援センター等の専門機関と密接に連携し、地域の皆さまのご協力を得ながら進めていきたいと考えています。



養正社協

夏休みの児童と過ごす「健康すこやか学級～世代間交流編～」

養正社協では、夏休みの時期に養正児童館と合同で健康すこやか学級を実施しています。児童館に来ている小学生の児童たちと高齢者が共に過ごし、レクリエーションや作品づくりに取り組みます。参加している高齢の方々は、子どもたちの元気に圧倒されながらも「にぎやかなのが楽しい」との声。子どもたちにとっても高齢の方々との過ごす貴重な機会となっています。ゲームのルールや作品の作り方などを互いに教え合いながら楽しく交流をしています。



問合せ

社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会

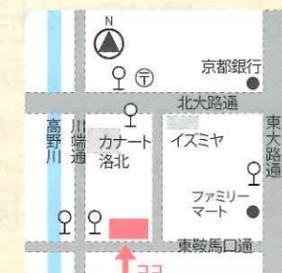
〒606-8103 京都市左京区高野西開町5番地 京都市左京区合同福祉センター内

TEL.(075)723-5666 FAX.(075)723-5665

http://www.mediawars.ne.jp/fukusi05/ E-mail : fukusi05@mediawars.ne.jp

左京区社協についてもっと知りたい方は、

左京区社協 検索



共につくるうきょうの絆



福祉ボランティア 社協フェスタ



2016年10月16日(日)

時間: 10:30~15:00

会場: ひと・まち交流館 京都

入場無料

♪親子で楽しめる催しがいっぱい♪

⊗ 子ども大集合!

イマ!
カエルキャラバン!
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE



参加して熊本の復興を応援しよう!!

⊗ 熊本復興支援ゾーン

- 復興支援物産展
- 熊本地震に対する支援取組パネル展示
会場に募金箱を設置し、熊本を応援します。



⊗ 子ども体験コーナー

⊗ 福祉体験・相談ゾーン

⊗ ボランティア交流コーナー

⊗ 地域福祉の紹介コーナー

⊗ 飲食・喫茶コーナー

【主催】京都市福祉ボランティアセンター | 京都市内の社会福祉協議会

【後援】京都市 | 京都市民生児童委員連盟 | 京都府共同募金会

京都市社協 広報サポーター募集のお知らせ

市社協では、広報誌等を分かりやすく親しみのあるものとするため、お知恵をお貸しいただける方を募集しています!

募集要項

- 応募資格 京都市内に在住又は通勤若しくは通学されている方。
- 活動内容 市社協が開催する会議にご出席いただき、広報等のアドバイスをいただきます。
- 活動回数 年数回
- 任期 2年間
- 謝礼 会議に出席いただいたときは、記念品を進呈します。

応募方法 住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・職業をご記入のうえ、下記あて封書又はFAXでご応募ください。

締切 12月9日(金) (必着)

結果通知 選考のうえ、平成29年3月末日までにご連絡します。

応募・問合せ先

総務部 TEL.354-8731 FAX.354-8736

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

平成28年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

http://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp

社協の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。

